

組織現勢 (11月1日現在)	
組合員数	19,747人
出資口数	92,467口
10月の新規加入	91人
10月の増資口数	2,036口

No. 377 再生紙を使用しています。

城南の保健

発行所
城南保健生活協同組合
 本部事務局 大田区大森東4-6-15-101
 TEL (3762) 0266
 振込銀行 さわやか信用金庫大森支店
 口座(普) 0469459
 発行 「城南の保健」編集委員会
 毎月1回発行・定価1部 30円

30回目の“健康まつり” 4000人が来場

第30回大田健康まつりのお礼

10月26日(日)に行われた『第30回大田・品川健康まつり』は、昨年を引き続き、大田区の後援を得て開催されました。当日は晴れて健康まつり日和となり、入場者数も4000人を超え、大成功をおさめることができました。実行委員会への参加ならびに、賛助券の普及等で準備の段階からご尽力いただいた皆さま、また当日の要員の皆さまのご協力により感謝申し上げます。テントや提灯など備品をお

貸いただいた皆さまにも感謝申し上げます。

さて、今年は池上小学校で開催しました。第30回の節目のまつりとして、今年の景品は、電動アシスト自転車や空気清浄機、布団用掃除機、デイスニーランドペアチケットなど、今までにないものとなりました。また、3等以下の景品も大幅に数を増やしました。

中央舞台では、昨年を上回る8団体・個人の方にご出演いただき、今年もたいへん盛り上がりました。出演していただいた皆さまありがとうございます。

模擬店は42の出店で盛況となりました。健康チェックコー

ナーには、260人を超える方においでいただきました。毎年大行列の定番、包丁とぎも好評でした。「子どもの広場」もたくさん親子連れで賑わいました。

今回の健康まつりでは、新しくつながりを持つことができました。団体も含め、各団体の連携をさらに強めることができました。今後とも、さまざまな運動で連携していければと思います。

ご感想、ご意見やご要望などがありましたら、実行委員会事務局までお寄せください。第30回大田・品川健康まつりへの参加、ご協力本当にありがとうございました。

2014年11月5日
 第30回大田・品川健康まつり
 実行委員会
 実行委員長 権守 光夫

今年の会場は池上小学校



毎年好評の荏原合同ユニオンエイサー隊が会場を練り歩きました



歯科チェックも多くの方に受けていただきました



骨密度測定も好評でした



総合判定を行う澤浦先生

健康まつり福引き当選番号は2面に掲載しています。

中央舞台・模擬店も賑わいました



日頃の練習の成果を披露 (スペースめおとぞか班の生協音頭)



模擬店はどこも大盛況でした

健康エックコーナーは大盛況

腹八分

乃木希典、東郷平八郎、広瀬中佐、橋中佐。国史や修身という科目のあった戦前の学校教育を受けた人びとの身に染みついてきた人物たちです。いずれも日露戦争当時の軍人です。大田口シアとの戦争で日本を勝利に導いた忠君愛国の武勳が、繰り返した学校教育の場で子どもたちの頭にたたき込まれました。▼現在に至るも、日本人の意識において希薄であるけれども、日露戦争は英・米を背景にした日本と独・仏・露の2つの勢力による代理戦争の性格を帯びていました。150日に及ぶ戦闘で双方とも兵士の消耗が激しく、戦費も底を尽き、アメリカの調停で休戦という形で終結を見ました。実際には、賠償金も領土も得られない結果でしたが、日本人には大勝利の意義がふくらんでいきました。▼その後、日本は軍事大国への道を歩みはじめ、やがて朝鮮支配に踏み込み、帝国主義へと突き進んでいきます。その国策を進める上で学校教育が利用されて、冒頭の4人をはじめ、日本の戦争に貢献した人物が実像を離れ、虚像が幼い意識を支配していきました。▼

やがて第2次世界大戦で日本は敗北。天皇を頂点にした軍国主義、帝国主義の経歴を基に、日本の主権は国民にあることを確認し、平和と民主主義をめざす道を歩むことになりました。しかし、戦前の日本を支配していた勢力は日本の中枢で生き残り、戦前への回帰を謀り一層勢力を強めています。彼らの標的は学校教育です。戦前の教科書が復活している。子どもを戦争から守るべきです。